

3Q

産 (さん) 業社会と人間→総合的な探究 (きゅう) の時間

3つの Q: 世界で何が起きているのだろう

Question Q: 自分の身の回りで何が起きているのだろう

Q: 自分にできることは何だろう

総合学科推進部

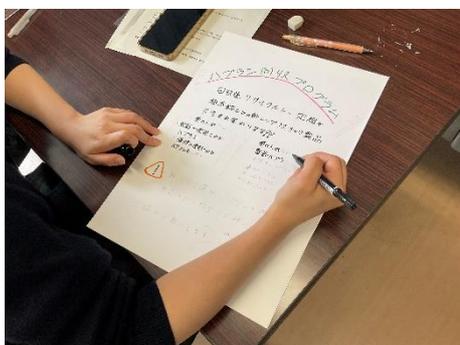
令和4年9月16日 NO.3



【ボランティア本格始動】

～ハブラシ・リサイクルプログラム～

ハブラシ・リサイクルプログラムは、捨ててしまえばごみとなる使用済みハブラシを回収・リサイクルし、植木鉢などの新しいプラスチック製品に生まれ変わらせるプログラムです。今年度より、総合学科の有志生徒がこのプログラムへ参加し活動をしています。夏休み前から回収をはじめ、皆さんにご協力頂いたおかげで、写真のようにたくさん集まりました。回収は9月28日までを予定しています。ハブラシは一ヶ月に一度交換することが良いと言われています。この機会に交換し、要らなくなったハブラシをリサイクルしてみませんか？引き続き皆さんのご協力をお願いします。



～“届けよう、服のチカラプロジェクト”～

「難民に服を届ける活動を、あなたの学校でも」



これは、ファーストリテイリングがUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに実施しているプロジェクトです。不要になった子供服を回収し、難民等必要とする人のもとへ届けることが目的で、総合学科の生徒46名が参加しています。まずは、プロジェクトについてユニクロの社員の方からお話を伺い、ポスターや回収ボックスを作成し、美里町の庁舎やコミュニティセンターや図書館などに設置させていただいております。



また、校内での回収も行っているため、お家に不要な子供服があれば、是非持ってきてください。



図書館まつりにも回収ボックスを設置しました。

ボックスがいっぱいになるまで入れていただきました。



“届けよう、服のチカラプロジェクト”

このプロジェクトは、ファーストリテイリングがUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに実施する、小・中・高校生が対象の地域型学習プロジェクトです。子どもたちが主体となり、着なくなった子ども服を回収し、難民などの服を必要とする人々に届けられます。本県でも、小・中・高校生が対象の地域型学習プロジェクトのプロジェクトに取り組みしており、本庁舎1階と本庁舎コミュニティセンターにも回収ボックスを設置しています。皆さんのご協力をお願いします。

※回収期間 本庁舎 9月6日(月)～10月5日(水)、本庁舎コミュニティセンター 9月6日(月)～10月5日(水)

※回収する子供服の種類について エニオやジョニー などの子供服も受け入れます。サイズは乳幼児の服から3歳～6歳までの下着以外のものとし、冬服と夏服の両方を回収します。回収にあたって、着られるものを厳選した状態で受け取ります。なお、汚損したもの、変形・変色・変質・ダメージがあるもの、靴下・帽子・バッグやベルトなどの小物は回収いたしません。

町内に回収箱11月発送

不要子ども服 難民へ

町の広報や新聞でも取りあげていただきました。

～みさとっこマーケット～

10月9日（日）に、美里町の駅付近でみさとっこマーケットというマルシェが行われます。総合学科の生徒41名が、ボランティアとして準備の段階から参加をしています。主催者の方からガイダンスを行っていただき、仕事内容によってグループに分かれました。地域の方と関わりながら、グループごとの活動を進めています。



1年間のうち、何か一つに参加をしてみましょう。「目指せ1人1ボランティア！！」

【野菜班とのコラボレーション】

3年生のフードデザインの授業で、科学コースの野菜専攻班が育てた「ロッサビアンコ」という西洋のナスを使った調理実習を行いました。ロッサビアンコは、イタリアの伝統的なナスで、大きな丸い形が特徴的です。実習では、「ロッサビアンコの卵とじ」を作りました！

野菜専攻班は、9月に小牛田図書館で行われる図書館まつりでの販売も予定しています。



いただきます！

【科目選択がはじまりました】

1、2年生は、次年度に向けて、自分が学びたい授業を選ぶ「科目選択」を行っています。各教科の先生から説明を聞いた後、学級担任と副担任の先生との面談を行い、どの科目を選択するか決めていきます。自分の将来を見据えて、「自分だけの時間割」をつくるために真剣に取り組んでいます。

